



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和4年度 不登校・いじめ等対策推進事業における域別シンポジウム

- 日 時：令和4年6月29日（水）13：15～16：15
- 会 場：南相馬市万葉ふれあいセンター（南相馬市鹿島区寺内字迎田22）
- 参加者：小学校教諭30名、中学校教諭18名、義務教育学校教諭4名、合計52名
- 内 容：講 義「域内の生徒指導上の課題」
 講 義「SSRの実践から考える今後の生徒指導の在り方」
 演 習「児童生徒が安心して学べる環境の整備～子どもの“苦戦”をどう捉え、どう対応するか～」
 講 話「メンタルヘルスに関する予防的心理教育プログラム体験」
 （ふくしま心のケアセンター 主任専門員 佐藤 則行 様）

【研修のまとめ】

児童生徒が抱える様々な課題や多様なニーズへの支援状況を把握することにより、多様で適切な学習活動の拡充が求められています。生徒指導主事が中心となり、情報共有の機会を工夫し、以下の点に留意して各学校における支援体制の充実を図りましょう。

- （1）相双地区において、新規不登校児童生徒が増加傾向にあり、特に学年が上がるとともにその傾向が強くなる。不登校の主な要因として「無気力・不安」が最も多く挙げられているが、「どうして無気力にならざるを得ないのか」「不安を感じる理由は何なのか」等、児童生徒に寄り添った見取りが必要である。
- （2）新規不登校児童生徒の発生を抑えるためにも、日常的な児童生徒の実態把握が大切である。令和3年1月に県教委が作成した『ふくしまサポートガイド』の「安心して学べる環境の整備－特別な教室－」「安心して学べる環境の整備－三段階の心理教育的援助サービス－」等を参考にする。
- （3）問題が起こってから対処するのではなく「こころの回復力・生活の中の対処能力を向上させ、安定を図る」ことを目的とする予防的プログラムを適時活用することも支援の一つである。

研修の感想

- 目に見える児童生徒の様子だけでなく、見えないところにも目を向け、児童生徒の“苦戦”やその背景を考えていくことが大切だと改めて感じました。同じ気付きから様々な対応（アプローチ）があることを考えることができました。
- 不登校の「早期発見・早期解決・未然防止」のために、教師の気付きの感度を上げ、小さな変化でも「もしかしたら・・・」と思うようにしたいです。
- 「こころの授業」は、センターの方に学校に来ていただいて実施したいと思っているが、今回の研修を受けて自分自身でもできるようになりたいと感じています。
- 校内生徒指導協議会の事例研究で、本日の演習のように各自の考えを基に話し合いを行って対応策を考えていきたいです。

